

# 会議録

会議名：運営推進会議

■ 日 時 : 平成31年1月15日(火) 10:30~11:30
■ 出席者 : 別紙名簿のとおり
書 記 : 田淵 由春 印
■ 議 題 : 平成30年度11月、12月の活動報告、外部評価
■ 内 容 :
1. 平成30年度12月報告
Ⅰ. 利用者状況
Ⅱ. 事故、苦情報告
Ⅲ. 行事報告 <span style="float: right;">各別紙参照</span>
○ふれあい親子食堂について・・・12月15日は、32名の参加があり、一緒にたこ焼きを焼きながら楽しくできた。
質問
Q. いきいきクラブとあるが希望者は全員参加できるのか？
⇒特養、小規模の合同の行事。参加希望があれば、どなたでも参加可能。
2. 外部評価(別紙参照)
質問
Q. 事業所自己評価で、「声にならない訴え」、「言葉や態度でみえない虐待をしている」とあるが、どういう意味なのか？
⇒「声にならない訴え」とは、コミュニケーションが難しい方が、トイレに行きたくて、身体をもそもそ動かしてみたり、立ち上がってどこかに行こうとしたりすることの真意を見極めて支援していく。
⇒「言葉や態度にみえない虐待」は、何か訴えがあったときに「ちょっと待って」と言って待ってもらうのではなく、どうして待つのか、どれくらい待つのか内容を伝えていくことが重要。それが事業所として不十分。
⇒また入浴も同姓介助を希望されている方が、異性の介助者で介護されている場合、しっかりとした情報収集や、繰り返しご本人の意向を確認していくことが求められている。
介護従事者の我々は、「役者になる」ことが大切。在宅では家族が24時間休みなく行わなくてはならないが、小規模では、複数で支援したり、交代勤務なので、勤務時間は役者を演じて支援していくことも必要。

Q. 質問ではないが、認知症方の支援は大変だと思う。家族や本人から「ありがとう」などの労いの言葉はかけてもらえるのか？

仕事とは給料のこともあると思うが使命感とか喜びも大切。外部評価のアンケートも無駄とは言わないが、簡素化し、役に立つものにしてほしい。介護の仕事についている方の処遇改善を望みたい。

次回開催日：平成31年3月19日(火)10:30～

施設長	副施設長	小規模	ケアマネ		相談員		栄養士	作業療法士	理学療法士
居宅		事務員					介護主任	リーダー	報告者

社会福祉法人 藤花会